

平成18年10月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 18年 3月 17日

上場会社名 株式会社ミロク

(コード番号：7983 大証第2部)

(URL <http://www.miroku-jp.com/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 弥勒 美彦 TEL：(088) 863-3310
責任者役職・氏名 代表取締役専務 田中 勝久

1 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

法人税等の計上基準及びその他影響額が僅少なものについては、簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2 平成18年10月期 第1四半期財務・業績の概況 (平成17年11月1日～平成18年1月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (金額単位 百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年10月期 第1四半期	3,565	0.1	278	20.0	378	11.5	222	12.5
平成17年10月期 第1四半期	3,566	18.4	347		428		254	
(参考) 平成17年10月期	15,396		1,361		1,641		1,028	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成18年10月期 第1四半期	15. 29	
平成17年10月期 第1四半期	17. 49	
(参考) 平成17年10月期	66. 11	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

ただし、平成17年10月期における四半期の売上高以外の増減率については、当四半期より財務情報を開示しているため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業の好業績を背景に民間設備投資、個人消費、雇用情勢等も堅調に推移しており、景気は回復基調にあります。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き生産効率の向上を図るなど原価低減に取り組むとともに、「顧客ニーズ」を十分に理解し新たな付加価値の創出によりコスト競争力の強化に努めてまいりました。当第1四半期の連結業績につきましては、厳しい状況下にある猟銃事業の影響から、売上高は3,565百万円(前年同期比0.1%減)、経常利益は378百万円(前年同期比11.5%減)、四半期純利益は222百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

猟銃事業

主力の米国市場は原油高の影響等により購買意欲が停滞してきており、またライフル銃の主力製品であるボルトアクション銃が次期モデル開発までの端境期にあることから、売上高、営業利益ともに減少いたしました。その結果、売上高は1,677百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益146百万円(前年同期比43.4%減)となりました。

工作機械事業

自動車・金型関連業界を中心とする設備投資が引き続き好調に推移しており、機械部門、ツール部門、加工部門はすべて売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、売上高は859百万円(前年同期比23.1%増)、営業利益は170百万円(前年同期比45.7%増)となりました。

自動車関連事業

自動車業界は好調を持続しており、主力の純木製ステアリングハンドルの受注数量は、好調であった前年同期の水準を維持、ウッド調ステアリングハンドルとシフトノブは、装着率の増加により受注数量が前年同期を大きく上回りました。その結果、売上高は1,023百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は6百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

なお、事業母体の㈱ミロクテクノウッドは持分法適用会社であります。

その他事業

含浸木材を使用したミロモックル事業は、公共投資の低迷から厳しい環境が続いております。売上高は5百万円、営業損失は4百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年10月期 第1四半期	14,115	6,761	47.9	464.38
平成17年10月期 第1四半期	13,239	5,716	43.2	393.10
(参考) 平成17年10月期	14,112	6,537	46.3	444.31

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年10月期 第1四半期	320	85	170	702
平成17年10月期 第1四半期	451	228	83	845
(参考) 平成17年10月期	1,732	1,025	309	937

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ微増となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額40百万円、投資その他の資産の増加額221百万円と、受取手形及び売掛金の減少額132百万円、有形固定資産の減少額29百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ営業活動及び投資活動による資金の支出が、財務活動による資金の収入を上回り、235百万円の減少となりました。この結果、当第1四半期末は702百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動の結果、資金の支出は320百万円となりました。これは、主に法人税等の支払額368百万円が売上債権の減少額132百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における投資活動の結果、資金の支出は85百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出159百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動の結果、資金の収入は170百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加額238百万円が配当金の支払額59百万円を上回ったことによるものであります。

[参考]

平成18年10月期の連結業績予想(平成17年11月1日～平成18年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,400	740	490
通期	14,800	1,420	930

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 59円 29銭

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期を終了し、連結業績予想に対する状況はほぼ計画どおり進捗しており、今後の受注状況もほぼ計画通りであることから、平成17年12月20日に発表した連結業績予想に修正はありません。

[添付資料]

1 (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前年同四半期 (平成17年10月期 第1四半期末)		当四半期 (平成18年10月期 第1四半期末)		(参考) 平成17年10月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	845		702		937	
2 受取手形及び売掛金	2,595		2,611		2,744	
3 たな卸資産	2,262		2,376		2,335	
4 その他	419		409		270	
貸倒引当金	23		20		21	
流動資産合計	6,099	46.1	6,078	43.1	6,266	44.4
固定資産						
1 有形固定資産	4,122	31.1	4,259	30.2	4,288	30.4
2 無形固定資産	97	0.7	105	0.7	108	0.8
3 投資その他の資産	2,919	22.1	3,671	26.0	3,449	24.4
固定資産合計	7,139	53.9	8,036	56.9	7,846	55.6
資産合計	13,239	100.0	14,115	100.0	14,112	100.0
(負債の部)						
流動負債						
1 支払手形及び買掛金	2,237		2,047		2,100	
2 短期借入金	2,100		2,039		1,800	
3 未払法人税等	151		145		341	
4 賞与引当金	181		177		120	
5 その他	486		362		673	
流動負債合計	5,157	38.9	4,772	33.8	5,036	35.7
固定負債						
1 社債	500		500		500	
2 長期借入金	800		800		800	
3 退職給付引当金	539		642		625	
4 役員退職慰労引当金	369		338		392	
5 その他	145		289		208	
固定負債合計	2,354	17.8	2,570	18.2	2,527	17.9
負債合計	7,511	56.7	7,343	52.0	7,563	53.6
(少数株主持分)						
少数株主持分	11	0.1	10	0.1	11	0.1
(資本の部)						
資本金	863	6.5	863	6.1	863	6.1
資本剰余金	519	3.9	519	3.7	519	3.7
利益剰余金	4,199	31.7	5,011	35.5	4,914	34.8
その他有価証券評価差額金	197	1.5	435	3.1	302	2.1
為替換算調整勘定	0	0.0	1	0.0	0	0.0
自己株式	63	0.4	65	0.5	62	0.4
資本合計	5,716	43.2	6,761	47.9	6,537	46.3
負債、少数株主持分及び資本合計	13,239	100.0	14,115	100.0	14,112	100.0

2 (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (平成17年10月期 第1四半期)		当四半期 (平成18年10月期 第1四半期)		(参考) 平成17年10月期	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	3,566	100.0	3,565	100.0	15,396	100.0
売上原価	2,827	79.3	2,899	81.3	12,429	80.7
売上総利益	739	20.7	665	18.7	2,967	19.3
販売費及び一般管理費	391	11.0	387	10.9	1,605	10.4
営業利益	347	9.7	278	7.8	1,361	8.9
営業外収益	94	2.7	108	3.0	323	2.1
営業外費用	13	0.4	8	0.2	43	0.3
経常利益	428	12.0	378	10.6	1,641	10.7
特別利益	2	0.1	16	0.4	12	0.1
特別損失	0	0.0	23	0.6	44	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	429	12.1	372	10.4	1,610	10.5
税金費用	174	4.9	149	4.2	581	3.8
少数株主利益又は少数株主損失()	0	0.0	0	0.0	0	0.0
四半期(当期)純利益	254	7.2	222	6.2	1,028	6.7

3 (要約) 四半期連結剰余金計算書

	前年同四半期 (平成17年10月期 第1四半期末)	当四半期 (平成18年10月期 第1四半期末)	(参考) 平成17年10月期
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	519	519	519
資本剰余金増加高	0		0
1 自己株式処分差益	0		0
資本剰余金期末残高	519	519	519
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	4,069	4,914	4,069
利益剰余金増加高	254	222	1,028
1 当期純利益	254	222	1,028
利益剰余金減少高	124	125	183
1 配当金	59	59	118
2 役員賞与	64	66	64
利益剰余金期末残高	4,199	5,011	4,914

4 (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成17年10月期 第1四半期)	当四半期 (平成18年10月期 第1四半期)	(参考) 平成17年10月期
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前当期純利益	429	372	1,610
2 減価償却費	123	132	565
3 売上債権の増減額(は増加額)	1,023	132	874
4 その他	683	591	675
小計	893	46	2,375
5 法人税等の支払額	441	368	730
6 法人税の還付金		2	88
営業活動によるキャッシュ・フロー	451	320	1,732
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産の取得による支出	240	159	925
2 その他	11	73	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	228	85	1,025
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金を増減額(は減少額)	151	238	147
2 配当金の支払額	59	59	118
3 その他	8	8	43
財務活動によるキャッシュ・フロー	83	170	309
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少額)	306	235	398
現金及び現金同等物の期首残高	538	937	538
現金及び現金同等物の期末残高	845	702	937

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(自 平成16年11月1日 至 平成17年1月31日 第1四半期)

	猟銃事業 (百万円)	工作機械 事業 (百万円)	自動車 関連事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,912	696	942	15	3,566		3,566
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高		1			1	(1)	
計	1,912	698	942	15	3,568	(1)	3,566
営業費用	1,653	581	935	12	3,182	36	3,219
営業利益	258	116	7	3	386	(38)	347

当四半期(自 平成17年11月1日 至 平成18年1月31日 第1四半期)

	猟銃事業 (百万円)	工作機械 事業 (百万円)	自動車 関連事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,677	858	1,023	5	3,565		3,565
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高		0			0	(0)	
計	1,677	859	1,023	5	3,565	(0)	3,565
営業費用	1,531	689	1,017	9	3,248	38	3,286
営業利益又は営業損失()	146	170	6	4	317	(39)	278

(参考) 平成17年10月期

	猟銃事業 (百万円)	工作機械 事業 (百万円)	自動車 関連事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,796	3,456	4,106	36	15,396		15,396
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高		12			12	(12)	
計	7,796	3,469	4,106	36	15,409	(12)	15,396
営業費用	7,033	2,737	4,079	41	13,892	142	14,034
営業利益又は営業損失()	762	731	26	5	1,516	(154)	1,361

(注) 1 事業の区分は、製品の種類、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 猟銃事業……散弾銃、スポーツ用ライフル銃、猟銃関連商品
- (2) 工作機械事業……深孔加工機、超精密研磨機、深孔加工用工具
- (3) 自動車関連事業……自動車用ハンドル、自動車関連商品
- (4) その他事業……含浸木材、木材関連商品

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社の管理部門に係る費用であります。

所在地別セグメント情報

前年同四半期(自 平成16年11月1日 至 平成17年1月31日 第1四半期)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%を超えているため記載を省略しております。

当四半期(自 平成17年11月1日 至 平成18年1月31日 第1四半期)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%を超えているため記載を省略しております。

(参考) 平成17年10月期

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%を超えているため記載を省略しております。

(会計処理の変更)

当第1四半期から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。

これにより、当第1四半期において損益に与える影響額は軽微であり、また、セグメント情報に与える影響はありません。